


▶ 避難行動 **立退き避難** **屋内安全確保** **緊急安全確保**

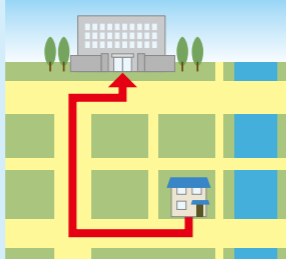


水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「立退き避難」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階に留まる「屋内安全確保」により身の安全を確保することも有効です。

立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「緊急安全確保」を行ってください。

計画的な避難行動		緊急的な避難行動
立退き避難  避難行動の基本です。	屋内安全確保  ▲想定浸水高さ 長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。	緊急安全確保  逃げ遅れた場合の行動です。身の安全を確保できるとは限りません。


▶ 避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

 避難は原則徒歩で 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。避難は原則徒歩で。	 集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
 浸水時に長靴は厳禁 避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。	 安全なルートで避難 避難場所への経路は、川沿いや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
 防災メモを持とう 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。	 アンダーパスに注意 大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に冠水してしまいます。もしものときに備えて迂回路を確認しておきましょう。

▶ 災害時の要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に自ら避難することが困難で、避難するためには支援が必要な人々のことです。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

視覚障がいのある人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 声をかけ、わかりやすい口調や音声情報で複数回繰り返して伝える。 ● 誘導する際には杖を持った手に触れず、ひじや肩を軽く持ってもらい、少し前をゆっくりと歩く。 	聴覚・言語障がいのある人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 顔をまっすぐに相手に向けてゆっくり、口を大きく動かしてわかりやすく伝える。 ● 手話・筆談・身振り・手のひらに指で文字を書くなどして情報を伝える。 
肢体不自由者の人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行を補助したり、車椅子、ストレッチャー、おんぶひもを利用して避難する。 	内部障がいのある人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 外見からは障がいがあることがわからず、自力歩行できる人も多いが、避難に支援が必要な場合もある。 ● 医療機器の使用状況などにより、それぞれ必要な支援が異なるため、本人によく聞いて手助けする。
子ども、知的障がいのある人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 慌てさせたり、恐怖心をあおらないよう、落ち着いた優しい声で避難誘導する。 	精神障がいのある人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 緊張感やストレスが大きくなりすぎないように、ゆっくりと丁寧な言葉で指示や情報を伝える。 
高齢者・寝たきりの人のために <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急のときはおぶって避難する。可能であれば複数の介助者で介助する。 	

※上記のほか、妊産婦・乳幼児・外国人などについても、それぞれの状況に応じた対応を工夫しましょう。
 ※上記は一般的な状況を示したものであり、介護度や家族の状況等によって必要とされる支援も異なります。

▶ 大雨時の地下は特に危険です

大雨時の地下施設・地下室などは危険です。地下空間は、地上の浸水状況と大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。

 水深が20~30cmでも、水圧でドアは開かなくなります。	 地下駐車場は水につかるおそれがあります。	 浸水すると電気が消え、エレベーターは止まります。
---	---	---